



田んぼダム実証調査における耕区排水樹への堰板設置（日田市朝日地区）

## Contents

### 02 トピックス

- ・全国土地改良功労者等表彰式を開催
- ・農業農村整備の集い  
～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～が開催される
- ・大分県受益農地管理強化委員会及び管理運営体制強化委員会

### 04 会議・要請活動

- ・第8回大分県土地改良振興大会を開催
- ・災害復旧事業 初級（基礎）研修会を開催
- ・令和4年度 第1回監事会・監査及び第2回理事会を開催

- ・大分ため池技術研究会の総会・研修会の開催
- ・大分ため池技術研究会の地盤材料試験講習会の開催
- ・令和4年度 大分県多面的機能支払推進協議会通常総会
- ・九州・沖縄地区における農業農村整備事業の強力な推進に向けての要望活動
- ・大分県農業農村整備事業推進協議会が要望活動を実施

### 10 インフォメーション

- ・土地改良区紹介 杵築市土地改良区
- ・新設課紹介（災害対策課）
- ・土地改良施設維持管理適正化事業 拡充について
- ・大分県土地改良事業団体連合会からのお知らせ

9

2022  
September

## 全国土地改良功労者等表彰式を開催

令和3年度全国土地改良功労者等表彰式が、5月30日（月）に土地改良会館5階大会議室において行われた。この表彰式は、3月24日（木）に全国水土里ネット通常総会にて執り行われる予定であったが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となったことから、全国水土里ネット副会長である本会義

経会長が受賞者に賞状を授与した。

全国土地改良功労者等表彰…良好な運営を継続している土地改良区とその運営に多大な貢献をされた方を表彰するもの。

受賞者は以下のとおり。

### 【第63回全国土地改良功労者等表彰】

#### 1. 団体表彰

| 団体名        |
|------------|
| 駅館川土地改良区連合 |

#### 2. 個人表彰

| 氏名                                  | 所属          | 職名   |
|-------------------------------------|-------------|------|
| 高野 克己<br><small>たかの かつみ</small>     | 千町無田土地改良区   | 理事長  |
| 中山田 秀俊<br><small>なかやまだ ひでとし</small> | 大田村土地改良区    | 理事長  |
| 野田 政幸<br><small>のだ まさゆき</small>     | 明治大分水路土地改良区 | 事務局長 |



記念撮影

前列左より 高野理事長、義経大分県土連会長（全土連副会長）、小山理事長会会長、中山田理事長  
後列左より 野田事務局長、駅館川土地改良区連合田畑事務局長、加藤常務理事

## 農業農村整備の集い～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～が開催される

6月14日（火）、全国土地改良事業団体連合会（会長二階俊博）は、シェーンバッハ・サポー（東京都千代田区平河町）において農業農村整備の集いを開催し、農林水産省からは金子原二郎農林水産大臣、武部新副大臣、宮崎雅夫政務官をはじめ、牧元幸司農村振興局長、安部伸治同局次長ら幹部が出席した。また、県選出の衛藤征士郎衆議院議員をはじめ多くの国会議員などの来賓臨席のもと、全国から土地改良事業関係者約700名が集結した。

集いでは、食料自給力の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、必要な予算を安定的に確保し、各種施策の着実な推進等の要請内容が採決された。

また、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員より、昨今の情勢報告を受け、きたる参議院議員選挙の必勝に向け全国水土里ネット女性の会 元木真澄会長のガ

ンバローで参加者全員の意思統一をはかり、集いは閉会した。

集い終了後に全土連幹部により農林水産省を始めとする関係省庁に要請活動を行った。水土里ネット大分義経賢二会長は、全国水土里ネット副会長として農林水産省に赴き、金子農林水産大臣に面談し要請書を手渡し、農業農村整備の重要性について説明を行い、金子農林水産大臣からは、食料安全保障の機運が高まっている中、TPP予算のように、食料安全保障の予算を別枠で考えていきたいとの発言をいただいた。



金子大臣(中央)、  
宮崎政務官へ要請

## 大分県受益農地管理強化委員会及び管理運営体制強化委員会

7月28日（木）、令和4年度の「大分県受益農地管理強化委員会」及び「管理運営体制強化委員会」が開催され、九州農政局の中村土地改良管理課長をはじめ県、市、改良区から委員の皆様にご出席いただいた。

委員会では、加藤委員長（水土里ネット大

分常務理事）の挨拶の後、令和3年度事業報告並びに決算、令和4年度事業計画（案）並びに予算について審議され、いずれも承認された。委員会で協議された意見を今後の体制強化事業の運営に反映させていく。



受益農地管理強化委員会



管理運営体制強化委員会

# 会議・要請活動

## ●第8回大分県土地改良振興大会を開催

水土里ネット大分、大分県農業農村整備事業推進協議会、大分県土地改良区理事長会は、6月16日（木）に大分市のホルトホールにおいて大分県土地改良振興大会を開催した。県下より関係者約330人が参集した。来賓には大分県知事（代理：尾野賢治副知事）、宮崎敏行九州農政局長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員、大分県議会からは志村学県議をはじめ6名の農業農村整備事業推進協顧問団、県関係では佐藤章農林水産部長のほか各振興局長らに出席いただいた。

主催者を代表し義経会長が「この大会の目的は、土地改良区が果たしている重要な役割



を県民にPRすること、事業実施に当たっての課題を提起し国や県へ要望していくこと、そして県農業の発展に資することにある。これまでの大会を通じ農家負担軽減実現など大きな成果を得ている。今年も5つの大会決議を皆さんと確認し、推進項目としたい」と挨拶した。来賓からは、尾野副知事、進藤参議、宮崎農政局長に挨拶をいただいた。進藤議員は「農業資材の高騰で農家は経営に苦慮している。国、県、市町村の政策を連携させ、様々な対策が土地改良へ、農業へと届くようにしていきたい」と述べた。

続く「地域の声」では、荻柏原土地改良区の尾仲綾さんと玖珠町農林課の岩切尊志主査より、農業農村整備事業や災害復旧事業の経験を踏まえた発表が行われた。最後に大会決議を参加者全員の賛同を得て採択した。大会後には進藤議員から「日本の食料を考える」と題して基調講演が行われた。

### 大会決議

- 一、農業水利施設等を良好な状態で次世代に引き継ぎ、地域の声に応えるための農業農村整備事業予算の確保
- 一、地域資源を適切に保管理し、自然豊かな美しい農業・農村を健全に維持するための多面的機能支払交付金制度の推進及び活動に必要な予算の確保
- 一、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化の実現のために、農地集積・集約化を促す農地の大区画化・汎用化に加え、流域治水対策や老朽化した農業水利施設の長寿命化対策の推進
- 一、地域農業の発展の一翼を担っている土地改良区の運営基盤強化に向けた公的助成制度の創設及び改正土地改良法の適切な実施への支援
- 一、農業農村整備事業を推進するために必要な農業土木技術者の確保と育成への支援



主催者挨拶  
(義経会長)



来賓挨拶  
(進藤参議)



地域の声  
(尾仲さん)



地域の声  
(岩切主査)

## ●災害復旧事業 初級（基礎）研修会を開催

6月24日（金）、土地改良会館で令和4年度農地等災害復旧事業 初級（基礎）研修会を開催した。本研修会は、農地災害復旧業務の経験が少ない市町村及び連合会の若手職員を対象とした研修会で、研修を通して災害復旧技術の基礎知識習得を目的としている。市町村14名、連合会23名の37名が出席した。

午前中の災害概要や現地調査では、過去の災害現場の写真などを使用し、連合会職員の経験談とともに災害関係法令や工法の判断、迅速な被害把握の必要性などを説明し、それらを踏まえた査定設計書作成演習に取り組んだ。演習では、受講生からの質問にすぐに対応できるよう連合会職員がサポートし、査定設計書の作成が円滑に行えるよう実施した。

午後は、大分川河川敷にてレベルの使い方やスタッフ（箱尺）の読み方、基本的な簡易測量であるポール横断の講習を実施。レベルを用いた水準測量では、観測結果から標高を求める一連の作業を受講生自らが行った。また、横断測量ではポール方式に加えトランシットによる測量手順と、新技術である3Dスキャナを用いて点群データを観測・処理する方法の説明を行った。研修会後のアンケート結果からは「理解できた」といった回答が



義経会長あいさつ



室内研修の状況

多く、一定の成果は得られたものと感じた。

近年頻発する災害に対応するためには、災害復旧技術者の育成が急務であり、本研修会により基礎知識の理解促進につながったものの、災害復旧事業は範囲が広く1回の研修ですべてを理解することは難しいと思われることから、今後も現地研修を取り入れた研修会を実施するなど、大分県全体の技術者の育成に寄与していきたい。



## 令和4年度 第1回監事会・監査及び第2回理事会を開催

7月5日（火）、令和4年度第1回監事会・監査が開催された。監事会では、年間の実施計画として10月に中間監査と補正予算の審議、1月に最終補正予算と令和5年度当初予算の審議を行うこととした。続いて監査が実施され、令和3年度事業報告、決算について諸帳簿・証拠書類等の確認、令和4年度第1



第1回監事会・監査

回補正予算の審議を行いすべて承認された。

7月20日（水）には、第2回理事会が開催された。議事では令和3年度の事業報告及び決算、令和4年度第1回補正予算、業務執行状況が審議され、承認された。議事終了後は大分県農村整備計画課黒垣課長より農業農村整備事業についての諸報告が行われた。



第2回理事会

## 大分ため池技術研究会の総会・研修会の開催

大分県のため池に関する農業土木技術者を育てようと平成29年に設立した「大分ため池技術研究会」の総会と研修会が7月13日（水）に開催された。

開会に当たり、研究会副会長の本会義経会長が、会員自ら発表する技術講演会や土質試験講習会など活動の成果を振り返り「農業土木技術の継承という研究会設立の原点を継続していく」と述べた。研究会会長の防衛大学校佐野教授は「産官学連携による技術力向上・農業土木技術継承、県農業農村振興発展に寄与という本研究会の目的達成に向け、理解・協力をお願いしたい」とあいさつした。来賓の県農林水産部黒垣参事監は、県の若手技術者育成に貢献いただき感謝する旨あいさつされた。総会では、前年度事業報告・収支決算、本年度事業計画・収支予算の議案が原案どおり承認された。

続く研修会では、佐野会長が「大分県内におけるスマート農業用ため池プロジェクト構想の推進」と題し、若手技術者による新技術を活用した構想策定への期待を述べた。また、県農村基盤整備課防災班佐藤参事からは「ため池の防災・減災対策」について講演を行った。

研究会の会員数は法人52者、個人37者、計89者であり、コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となった今回は総会に47者72名、研修会に73名が出席した。



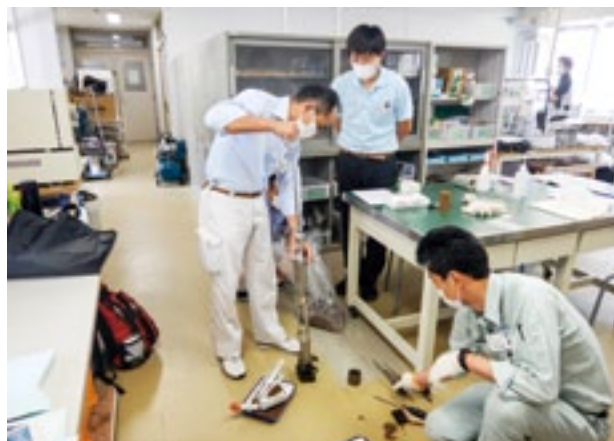
## ●大分ため池技術研究会の地盤材料試験講習会の開催

ため池築堤材料の性質を明らかにするため必ず行われる地盤材料試験に係る講習会が、7月16日（土）と23日（土）の2日間に分けて開催された。

本講習会は、試験技術への理解や試験精度向上を目的に、大分高専に会場協力を、大分県地質調査業協会に講師派遣をいただき実施するもので、延べ21名が参加した。講師ガイダンスにより試験の目的・内容・方法等を確認し、実際に参加者が試験を行うというスタイルで、1日目は土の湿潤密度試験、一軸圧縮試験、一面せん断試験、三軸圧縮試験（説明のみ）を、2日目は透水試験（定水位・変水位）を行った。参加者は「一連の作業により理解度を高められた」「供試体により結果

に若干の差が出るのが興味深い」「来年も参加したい」など、土に関する興味と理解を深め非常に有意義な講習会となった。

来年度以降も、関係機関協力の下、会員の技術力向上のために、実施していく予定である。



供試体作成（土の締め）

## ●令和4年度 大分県多面的機能支払推進協議会通常総会

7月27日（水）、土地改良会館において、令和4年度大分県多面的機能支払推進協議会の総会が開催された。

開会に当たり本協議会の会長である水土里ネット大分義経会長より「活動期間終了とともに、活動を断念する組織が増えている。高齢化や事務を行う人がいない等の理由が挙げられており、面積を減らさないようにしっかりと対策して取組強化を行っていく。また、今年5月に長寿命化対策工事に関わる不祥事が発生した。その背景には、一人に権限が集中しており全て一人で指名業者の決定をしていた。今後の対策として、予定価格の公表及び組織内の合意形成等を徹底して再発防止に努めていく。」と述べた。

その後、令和3年度事業報告及び収支決算、規約の改正、令和4年度事業計画及び収支予

算案についての各議案が提出され、承認された。続いて、大分県農村整備計画課農村環境保全班より県下の取組状況や情勢等の説明があった。

協議会では、本年度も事業計画に則り大分県、市町村、改良区と連携し事業推進並びに本事業の制度についてPRに努めていきたい。



## ●九州・沖縄地区における農業農村整備事業の強力な推進に向けての要望活動

土地改良事業団体連合会九州協議会は、去る5月18日（水）に宮崎県で第64回通常総会を開催し、令和3年度の事業報告、決算並びに令和4年度の事業計画等の議決を行い、令和4年度の会長県として佐賀県が選出された。

7月25日（月）には、事業計画に基づき九州農業農村整備事業推進協議会（会長：江里口秀次 小城市長）と土地改良事業団体連合会九州協議会（会長：田島健一 水土里ネット佐賀会長）は、九州・沖縄各県と合同で九州農政局へ政策提案活動を行うとともに、8月8日（月）から9日（火）にかけて農林水産省並びに関係国会議員へ政策提案を実施し、以下の6項目について要望を行った。

1. 食料自給率・自給力の向上を図るための農業農村整備事業に係る令和5年度当初予算の確保
2. 自然災害からの復旧・復興に対する支援、並びに国土強靱化対策に必要な財政支援
3. 多面的機能支払交付金の必要額の確保及び円滑な活動への支援
4. 土地改良区の運営基盤強化の支援
5. 農業政策推進に不可欠な水土里情報システムの利活用促進のための支援
6. 土地改良法改正による「会員からの委託を受けて行う土地改良工事」に係る円滑な体制整備への支援



九州農政局への提案活動



議員会館で進藤金子議員へ要望

## ●大分県農業農村整備事業推進協議会が要望活動を実施

大分県農業農村整備事業推進協議会（会長 是永修治宇佐市長）と水土里ネット大分は、令和5年度農業農村整備事業関連予算の確保等5項目を九州農政局並びに農林水産省に要望した。

8月2日（火）に実施した農政局要望では、宮崎農政局長、小島局次長以下幹部職員と面談し、その後、関係担当課長と個別の意見交換を行った。

8月10日（水）には、農林水産省で青山農村振興局長、安部次長、整備部青山部長とそれぞれ面談にて要望を伝えた。また、衆参議員会館にて農林水産大臣政務官で参議院議員の宮崎雅夫氏、全国水土里ネット会長会議顧

問の進藤金日子氏並びに県選出国會議員へも同様の要望を行い、計画的な事業推進のための当初予算確保に理解をいただいた。要望項目は以下のとおり。

1. 農業農村整備事業に係る令和5年度当初予算の確保
2. 自然災害からの復旧・復興に関する支援
3. ため池の改修や適正な管理・保全体制の整備など防災・減災対策の推進
4. 土地改良区の運営基盤強化に向けた公的助成制度の創設、及び改正土地改良法の適切な実施への支援
5. 多面的機能支払交付金制度の推進及び活動に必要な予算の確保



是永市長が農政局へ要望内容を説明



宮崎敏行九州農政局長へ要望



宮崎雅夫政務官へ要望



進藤金日子参議へ要望

# 杵築市土地改良区

寄稿：事務局長 上田 眞由美

私の勤務する杵築市土地改良区は、昭和56年に完成した石山ダムを管理する石山土地改良区、平成3年に完成した鍋倉ダムを管理する鍋倉ダム土地改良区、江戸時代に築造され300年以上の歴史を持つ白水池を管理する白水土地改良区、大正時代に築造された新宮池を管理する日野土地改良区、八坂川の北側に位置する川北用水及び頭首工を管理する川北土地改良区の旧杵築市内の5つの土地改良区が、組織強化や施設の維持管理の円滑化等を図るために平成18年4月に合併して設立されました。現在、改良区の受益面積は396ha（水田296ha、畑100ha）、組合員数862名です。

昨年度末に事務局長が退職し、令和4年度より新たに2名を採用して現在職員3名体制で全員が女性職員となり、私も事務局長という大役を任されています。また、7月末で平成24年11月から9年9ヶ月理事長を務められた真砂矩男氏の退任に伴い、新たに小春稔氏が理事長に就任し、新たな役員体制となりました。



橋元さん、上田局長、小春理事長、木元さん

業務では、賦課金徴収に係る業務を始め、土地改良施設の維持管理や事務運営等を行うとともに、改良区内の14組織が加入している多面的機能支払推進交付金事業の広域組織「杵築市多面的広域協定」からの事務受託業務を行っています。年度初めは、女性ばかりの職員で大丈夫なのかという不安はありましたが、行政や役員さんたちの協力により日々業務を実施しています。今後、突発的な案件の対応、改良区直営工事の発注、多面的広域協定の長寿命化工事の取り組みなど多くの業務がありますが、皆で力を合わせ協力して乗り越えていこうと思います。

昨今、土地改良団体における女性参画の推進は、多様性社会の活力を高め、地域社会・経済に活力をもたらすなど、農業・農村を継続させるために重要なこととして、第5次男女共同参画基本計画並びに土地改良長期計画において、土地改良区（土地改良区連合を含む）の理事に占める割合を10%（2025年度目標）とする成果目標が掲げられていますが、当改良区では現時点では役員15名全員が男性となっています。

近年、女性の農業者は、徐々に増えていると感じていますが、女性理事の登用はハードルが高い状況です。しかし、土地改良区の運営には多様な意見を反映することがますます重要になることは確かです。



当改良区といたしましても、理事会等で議論を深めていく必要があると思いますので、小春理事長を筆頭に役員の方々と事務局職員一体となって取り組んでいきたいと考えています。大分県土地改良区事務局連絡協議会や、おおいた水土里ネット女性の会を通じて、意見交換などできればと思います。

## 新設課紹介（災害対策課）

近年、全国的に自然災害が頻発・激甚化する中、大分県内の市町村においても農業土木技術者不足により当会への災害支援要請が多く寄せられています。広範囲にわたる被災に当たっては、当会においても人員、人材の確保が必要となることから、会員支援の迅速化や、災害復旧技術者育成に向けた実務研修会の充実、ICTなど新技術活用の推進を図ること等を目的に、令和4年度より災害対策課を創設しました。現在職員6名、臨時職員1名の体制で業務に当たっています。

技術者育成では、市町村、土地改良区、連合会職員等を対象とした災害初任者研修会、関係団体を退職された農村災害復旧支援技術者を対象とした研修会を行っています。また、新技術活用の面からは、災害復旧業務における現場作業の効率性・安全性の向上を目的に、3Dスキャナを活用した測量設計の研究・強化に取り組んでいます。



災害三次元測量

## 土地改良施設維持管理適正化事業 拡充について

令和4年度より標記事業に防災減災機能等強化対策が拡充になりました。

### 【防災減災機能等強化対策の施設整備例】

#### ◆農村地域の防災減災

- ①防災重点農業用ため池等の整備…堤体、護岸、浚渫、監視・制御装置等
- ②排水施設の整備…排水機場、排水路、排水樋門、浚渫、監視・制御装置等
- ③用水施設の整備…用水機場、用水路の豪雨対策、監視・制御装置等

#### ◆省エネ化・再生エネルギー利用

- ①施設エネルギー効率を高める整備
- ②小水力・太陽光の再生エネルギーによる発電・充電の給電設備等

#### ◆省力化（デジタル化）

- ①施設の遠隔監視・制御のためのICT機器や水管理システムの整備・操作・運転の自動化、電動化設備等の整備

#### 防災・減災機能の強化



ため池護岸の整備

#### 施設管理の省エネ化



高効率型モーターへの更新

#### 施設管理の省力化



監視装置の設置

※早急に防災・減災等の効果が発現されるよう加入年度に実施できるのが特徴です。

※通常の整備補修事業同様に5ヶ年均等の拠出になりますが、県、事業主体負担相当額を全土連が財政融資資金を借入るため利息分も含めた拠出になります。

|         |      |      |         |
|---------|------|------|---------|
| 事業費負担区分 | 国50% | 県20% | 事業主体30% |
|---------|------|------|---------|

※詳細については、会員支援課までお問い合わせください。

## — 大分県土地改良事業団体連合会からのお知らせ —

当連合会では、会員土地改良区の皆さまへ下記「土地改良区の工事発注に伴う留意事項について」（令和4年8月5日付 大土改連第484号）の通知を行いました。

### 『工事発注の透明性を確保するための留意事項』

土地改良区は公法人であることから、工事発注等については透明性を確保し、公益性をもって組合員並びに県民からの理解と信頼を得なければなりません。このため、工事発注を行う場合は以下に留意願います。

#### 1. 工事発注の事前承認

工事計画については、総会・総代会または理事会で承認を得ること。ただし、緊急的な工事においては、この限りでない。

#### 2. 発注業者の選定

発注業者を選定する場合は、理事を含む3名以上で行うこと。

#### 3. 予定価格の公表

指名競争入札の場合は、予定価格を公表すること。

#### 4. 開札

開札は、理事を含む2名以上で実施すること。

#### 5. 入札結果報告

入札の結果（落札業者、落札金額）は、理事会に報告すること。

また、同日付で大分県農村整備計画課より

「土地改良区における工事執行のガイドラインについて」

「多面的機能支払交付金における工事執行のガイドラインについて」

の2つの文書も発出されていますので、ご確認のうえ併せてご留意ください。

なお、当会及び大分県多面的機能支払推進協議会では、上記ガイドラインを補完するため、発注事務の具体的な手順等を整理した「工事執行（外注）の手引き」を作成し、令和4年8月31日付けで発出しましたので、ご活用ください。



### 水土里ネット大分



### 大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号  
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号（事務局3F）  
TEL097-536-6631 FAX097-534-4338
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3  
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2  
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2  
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

